

- 教育旅行受け入れに偏重したツーリズムからの脱却。
- 個人農家がそれぞれの提供を望んでいる体験内容に幅広く対応できる多様な集客。
- 協議会が運営する体験宿泊施設による収益確保と、地域モデルの確立。

岩手県一関市



【採 択 年 度】
平成30年度

【事業実施期間】
平成30～31年度



【実施体制】

いちのせきニュー
ツーリズム協議会
(事業実施主体)

中心的な
役割を担う
団体

・いちのせき
ニュー
ツーリズム
協議会(事
務局)

宿泊
部門

・またきたい
・農家民宿
5軒
・個人民泊

食事
部門

・農家レス
トランぬく
もり
・外部連携

体験・交流
部 門

・個人農家
70軒
・陶芸工房2軒
・いわて砂金採りレ
ジャー普及協議会
・外部連携

その他

・行政(市・県)
・観光協会

【特徴的な取組】

- 協議会直営で住宅宿泊事業法による民泊施設を開業
- 築50年弱の民家を活用。様々な体験もできる宿として運営。
- 地域の農家・農家民宿と連携した誘客を図る。



農業体験



砂金取り体験



Facebookページ

※活動状況が一目でわかる写真を添付

【取組内容】

1. 農泊推進事業 (H30～H31)

(1) 農泊推進のための実施主体の体制整備に係る事業

①民泊事業 ②体験プログラム造成展開事業 ③飲食業連携事業

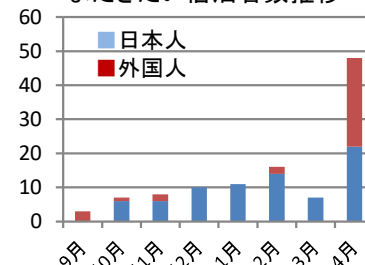
(2) 販売推進事業

①ICT活用ワークショップの開催 ②協議会HPとパンフレットの作成

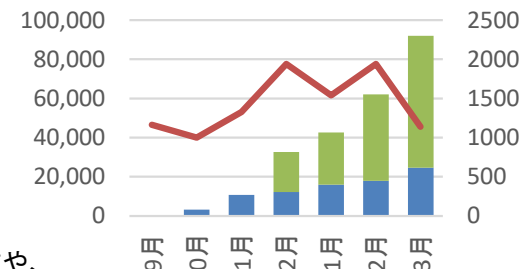
2. 人材活用事業 (H30～H31)

地域外の人材を活用し研修生を配置し事業の推進

またきたい宿泊者数推移



サイト閲覧数及び売上高推移



研修生によるSNSを使った情報発信や、施設チラシ作成、配布を地道に行った結果、4月、5月の予約が多数入り、上の図が示す通り、次年度の宿泊者数を大幅に伸ばすことができた。台湾からのモニターゲストに情報を発信してもらうなどの取り組みの結果、大型連休中の宿泊予約の半数が台湾からとなった。

また、体験型施設としてピザ焼き、バーベキュー、ヤギとのふれあい体験、はっと汁体験、もちつき体験、スラックラインなどアウトドアや郷土料理を中心とした様々な体験メニューを用意、提携農家や飲食店と連携することにより12のイベントを開催し地域との交流を図り、地域に溶け込んだ施設とすることができた。

インバウンド対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約
WiFi	WC	¥		Aa	